



小久保 照枝 議員 公明党

問 病児・病後児保育の充実を

答 改善に努め、安心の場を提供

問 本市の病児・病後児保育の料金が近隣市町と比べて高い理由は。

答 **健康福祉部長** 本市はファミリー・サポート・センターを活用しているため、近隣自治体の事業と比較しても同等水準である。

問 料金の見直しを検討できないか。

答 現時点では考えていない。

問 煩雑な手続きの簡素化を進める考えは。

答 子どもの健康状況票は情報収集のため必要である。また、医師連絡票を市ホームページ等に掲載する。

問 利用しやすい環境整備をどのように進めるか。

答 施設案内は市ホームページに地図掲載などで改善する。

問 市長の見解は。

答 **市長** 他自治体を参考に、できるところから改善に努める。



▲病児・病後児保育施設「えがお」

問 小中学校の熱中症対策を急げ

答 現在の対応を継続していく

問 通学時に使用した冷却グッズをどのように保管しているか。

答 **教育部長** 各自のかばんやロッカーで管理している。

問 下校時に冷たい状況で使えるように冷凍庫を教室に設置できないか。

答 冷凍庫は設置場所や安全面の課題があり、解決策を検討する。

問 水筒を忘れたり、飲み干した児童生徒への対応は。

答 学校備蓄のペットボトル飲料を提供する。

問 熱中症対策として、小中学校にウォータークーラーを設置できないか。

答 費用や衛生管理等の課題が大きく、現時点で整備は難しい。現在の対応を継続する。



■その他の質問

高齢者福祉センターに「マージャンで憩いのひろば」を